

## 関係機関 適応指導教室との連携

Qさんの担任のR教諭が、適応指導教室の指導員に電話を入れた。

R教諭：「いつもQさんがお世話になり、ありがとうございます。

最近のQさんの様子は、どうでしょうか。」

指導員：「遅刻してくることはありますが、休まず元気に通っていますよ。最近、勉強を頑張ろうという気持ちができてきましたね。」

R教諭：「そうですか、それはよかった。ありがとうございます。

ところで、さきほどQさんと電話で話したところ、今度の期末考査を適応指導教室で受けたいと言っていましたが可能でしょうか。」

指導員：「はい。事前に問題を届けていただければ、同じ日程で実施することもできます。」

R教諭：「分かりました。それ

では問題を届けますので、よろしく願います。」



不登校の子供に対しての適応指導教室が、現在ほとんどの区市町村に設置されています。

### 適応指導教室とは

適応指導教室は、集団生活や学校生活になじめず、学校に行けないで悩んでいる子供たちに、学習や様々な活動を通して人とのふれあいの場を提供するところです。

### 定期的に連絡をとる

- ① 日ごろから指導員と連絡を取り合い、子供の近況を把握する。
- ② 学校からの配布物を適応指導教室にも届け、学校生活との接点をもつ。
- ③ 月末には、その月の出席状況、学習内容及び生活の様子を報告してもらい、子供の状況を把握すると同時に変容などを共通認識する。
- ④ プリント教材など、適応指導教室でも活用できるものを提供する。

### 子供とのかかわりをもつ

- ① 適応指導教室訪問をするなど、子供とのふれあいを深めていく。
- ② 適応指導教室に任せきりにするのではなく、子供の状況に応じ、可能ならば放課後学校に呼んで学習指導や話し相手をする。

### 学校復帰に向けて

学校復帰は、本人の気持ちはもちろんのことですが、学校、適応指導教室、家庭の協力が不可欠です。始業式、終業式、その他の学校行事に子供が参加することから、学校復帰につながる場合もあります。行事の案内など、学校の情報も積極的に適応指導教室に伝えていきましょう。